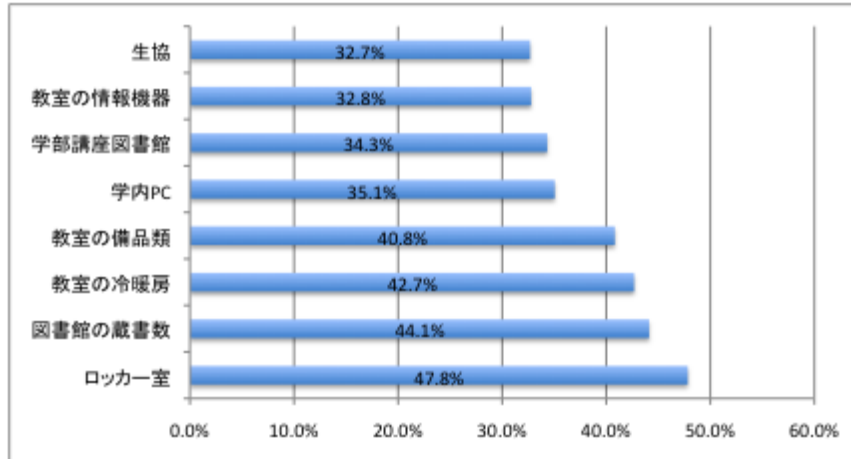


3 教育施設・大学整備

1. 本学の教育施設・設備や大学整備について改善すべきもの

図表3-1 改善すべき点(学部)

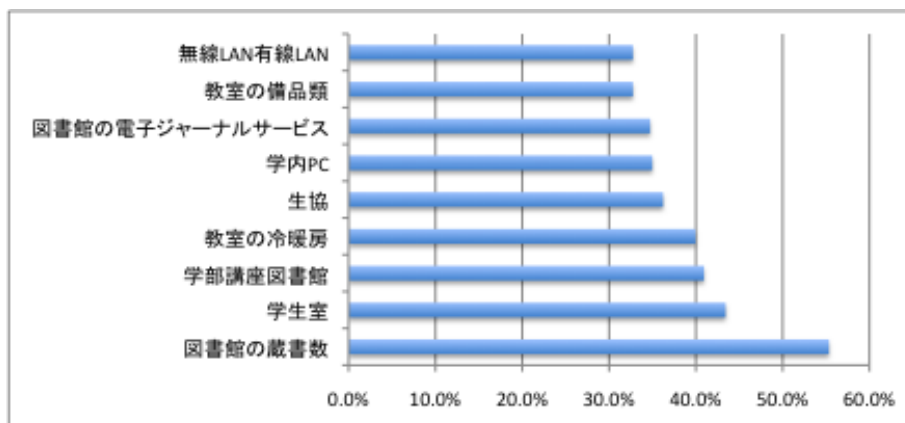


改善すべき上位に全学部、ロッカー室、図書館の蔵書数、教室の冷暖房、教室の備品類が挙っており、これらの項目では40%以上の高い割合で改善を希望すると回答している。そのうち図書館の蔵書数に関して、学部講座図書館への改善希望の割合も34.3%と高い割合にあり、大学の蔵書に関しては拡充する学生が多いものと推測される。学部間に差があるものとしては、教室の冷暖房の項目に文教育学部の51.0%が選択しており、半数以上の学生が冷暖房に不備があると回答している。(文教一号館3階の冷暖房の効きが良くないらしい。)

一方、MMLL 教室、情報処理教室、CALL 教室、キャンパス環境、学生センター情報サービス室、小教室の数については、選択率が全学で10%を割っており、多くの学生は肯定的な評価、もしくは学生個人の利用に関しては利用頻度が他に比べて少ないことが伺われる。

また、平成19年度の意識調査の報告と比較を行うと、満足度の5段階選択(非常に満足、やや満足、どちらでもない、やや不満、非常に不満)で回答の形式が違うが、やや不満と非常に不満を合わせた割合で、上位からロッカー室が57.9%、図書館の蔵書数が56.5%、教室の備品類(黒板、マイク、机類など)40.7%であった。今回の結果と比較してみても大きい変化はなく、ロッカー室、図書館の蔵書数が不満点として挙っており、今回調査では前回に比較して教室の冷暖房の不満が若干増している。

図表3-2 改善すべき点(院生)



院生の回答からは、改善すべき上位に図書館の蔵書数、学生室、学部講座図書館、教室の冷暖房が挙っており、いずれも40%以上の学生が選択している。特に図書館の蔵書に関しては55.3%の学生が改善を望んでいる。比較社会文化学専攻、人間発達科学専攻、ジェンダー社会科学専攻、ライフサイエンス専攻では平均して7割の学生が不足と感じている。学部生と比べても蔵書の不足は院生の多くが感じていることと推察される。また、学生室の改善希望が特に比較社会文化学専攻、人間発達科学専攻においてそれぞれ50.0%、69.8%と高くなっている。

平成19年度の意識調査の報告と比較を行うと、満足度の5段階選択(非常に満足、やや満足、どちらでもない、やや不満、非常に不満)で回答の形式が違うが、やや不満と非常に不満を合わせた割合で、上位から図書館の蔵書数が74.4%、専攻・コースの図書室が57.3%、院生室が46.7%であった。今回の結果と比較するとやはり図書館の蔵書数が依然不満点として1位である。また同じく学生室(院生室)の不満が続いている。

その他(具体的に)の設問に関して、

(学部)

- ・ 学内ではなく自宅で文献を検索閲覧できるサービス(限られた時間で、早朝に研究作業をすることが多いため)が欲しい。
- ・ 学内無線LAN、Wi-Fiの使い方が複雑すぎる。蔵書はもっと増えるにこしたことはない。
- ・ 体育館前に駐輪スペースを作ってください。マナーは守ります。現在水1の大講義室は人であふれています。明らかに定員オーバー。座りきれません。
- ・ 大学1年生に対する「就職の情報提供」 ※3年になるまで、就活支援室の存在すら知らなかった。
- ・ 授業がない時間に飲み食いしながら休憩できる場所がない。学生会館は冷房がなくて夏すごく暑い。
- ・ 図書館の開館時間を長くしてほしい。夜10時頃まであけても良いのではないか。
- ・ PCの起動、動作、ネット速度に不満。特に学生センターがひどい。
- ・ 学生会館やサークル棟の設備投資をしてほしい。騒音もあるし、部室として個室がほしい。
- ・ 理学部2号館5階の女子トイレの荷物掛けのついている位置が高すぎて手が届きません。
- ・ 全体的な清掃が以前より質が落ちた気がします。

(院生)

- ・ 寮の防音を改善してほしいです。語学の発音練習すら夜中にされると眠れません。
- ・ ゴミの分別について、学生全体の意識を高める必要があると思います。ゴミの出し方が雑で、リサイクルなどの意識が低いように感じます。
- ・ 教務・学務関係の掲示にWebシステムが活用されていないので非効率。
- ・ 生協の品揃えを充実させてほしい。また、図書館でもっとレファレンスを受けやすい環境を作してほしい。
- ・ ごみ回収の回数が少なすぎる。
- ・ 他研に比べ人数多いが同じ大きさの部屋しか与えられずとても狭い。
- ・ 南門の開門時間の延長。
- ・ 図書館および図書室でのデスクスタンド貸し出しをお願いしたい。

などの回答があった。

2. 大学のセキュリティについてどう感じているか

図表3-3 警備(学部)

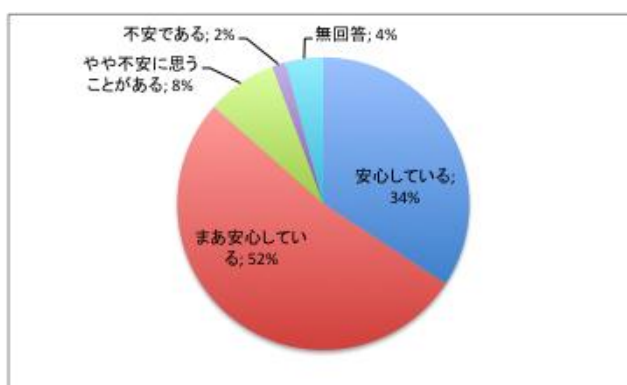


セキュリティ及び警備については、学部生全体で 86.4%が安心している及びまあ安心していると回答している。およそ 9 割近くの学生は安心していると回答しており、おおむね満足との評価をしている。一方で不安である及びやや不安であると回答している学生が合わせて 9.7%と一割近くが回答しており、何らかの不安を感じている学生も一定数いると考えられる。

前回調査と比較すると、前は回答形式が(多いに安心、かなり安心、特に何も感じない、少し不安、とても不安)と違っているが、大いに安心 10.2%、かなり安心 26.3%、特に何も感じない 42.3%となっており、これらを合わせて 78.8%であった。若干であるが、前回よりも警備に関して安心している学生の割合が増加している。

また、個人情報保護についてどう感じているかの回答は、安心しているが 34.2%、まあ安心しているが 52.3%と、学部生全体で 86.5%の学生が安心している及びまあ安心していると回答しており、警備と同じくおおむね満足との評価をしている。しかし一方で、警備に安心しているの回答が 52.7%に比べると、安心していると回答している割合が 2 割近く低く、警備に比べて潜在的に抱えている情報セキュリティへの不安はやや高いものと推測される。

図表3-4 個人情報(学部)

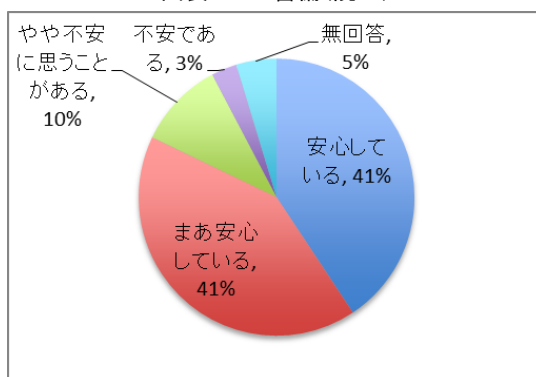


院生のセキュリティ及び警備については、全体で 82.1%が安心している及びまあ安心していると回答している。学部生よりは若干下がるが、およそ 8 割の学生は安心していると回答しており、おおむね安全との評価をしている。一方で不安である及びやや不安であると回答している学生が合わせて 13.2%と一割を超える学生が回答している。学部生に比べ、若干不安の割合が高くなっている。

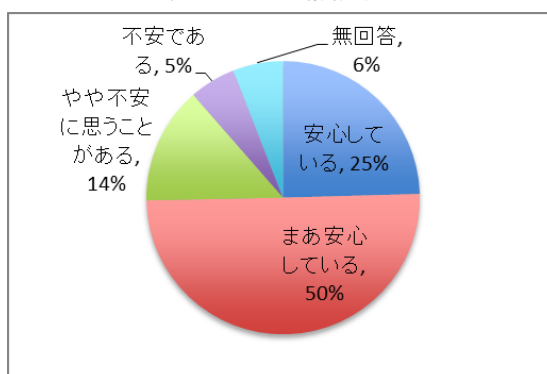
前回調査との比較では、前は回答形式が(多いに安心、かなり安心、特に何も感じない、少し不安、とても不安)と違っている。大いに安心 8.2%、かなり安心 26.2%、特に何も感じない 25.6%で、これ

らを合わせて 60.0%であった。また、少し不安、とても不安を合わせると 39.6%の学生が回答しており前回よりも警備に関して安心している学生が約 2 割増加しており、不安がある学生の割合も 2 割強減少している。

図表3-5 警備(院生)



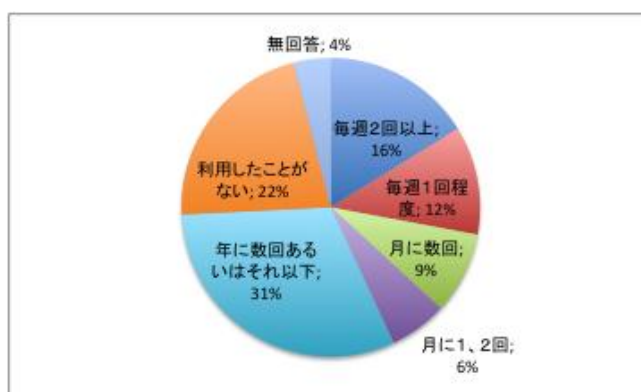
図表3-6 個人情報(院生)



また、個人情報保護についてどう感じているかの回答は、安心しているが 24.6%、まあ安心しているが 50.1%と、全体で 74.7%の学生が安心している及びまあ安心していると回答しており、おおむね満足との評価をしている。また学部生と同様に、警備の安心しているの回答が 40.7%に比べると、安心していると回答している割合が下がっており、院生においても情報セキュリティの不安は学内の警備よりもやや高いものと推測される。

3. 外国語の自習でCALL教室、MMLL教室、学生センター1階情報サービス室、情報処理教室、図書館をどの程度利用しているか

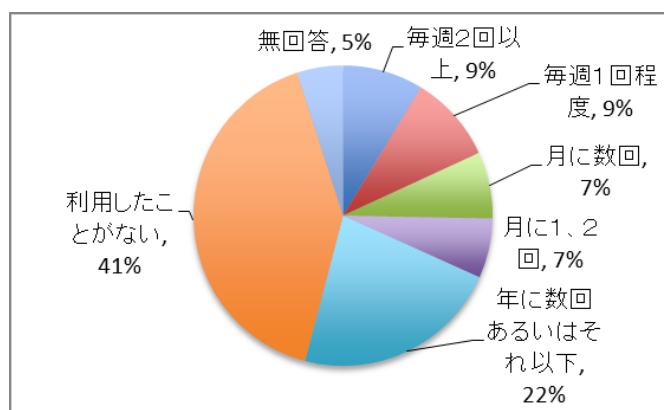
図表3-7 外国語の自習教室利用状況(学部)



学部生の外国語の自習教室利用状況については、28.0%が毎週2回以上及び毎週1回程度と回答しており、約3割の学生が習慣的に外国語自習教室を利用していると回答している。一方利用したことがない、又は年に数回あるいはそれ以下と52.9%の学生が回答しており、半数以上の学生が語学学習に外国語自習教室を利用していないと回答している。これらの割合は、3学部間において大きな差はみられず、全学的に外国語自習教室の利用が半数以下と回答している。

前回調査では、毎週2回以上と毎週1回程度を合わせて9.3%の学生が回答しているのので、比較すると2割程度の学生が自習室をより利用するようになったようである。また今回と同じく前回調査においても学部間において大きな差はなかった。

図表3-8 外国語の自習教室利用状況(院生)

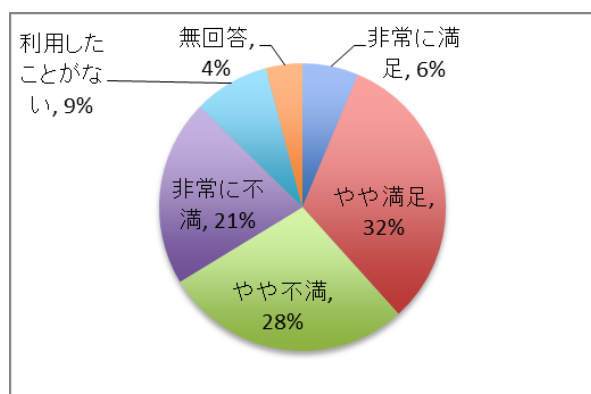


院生の外国語の自習教室利用状況については、18.1%が毎週2回以上及び毎週1回程度と回答しており、約2割の学生が習慣的に外国語自習教室を利用していると回答している。学部生と比較すると、よく利用すると回答している学生の割合が一割ほど低くなっている。特に、ライフサイエンス専攻、理学専攻では、毎週2回以上と回答した学生が0.0%と、際立って低くなっている。また利用したことがない、及び年に数回あるいはそれ以下と63.3%の学生が回答しており、6割を超える学生が語学学習に外国語自習教室を利用していないと回答している。

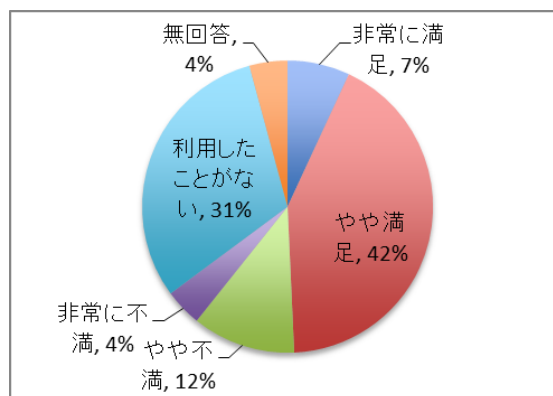
4. 本学の授業以外の教育サービスについてどのように感じているか

(学部)

図表3-9 事務窓口の対応



図表3-10 情報教室の開室時間



13 ある設問のうちシラバス、履修ガイド、開講科目冊子、時間割冊子、OchaMailの項目に関しては、非常に満足とやや満足と回答した割合がおおよそ7割で、概ね満足との回答であった。一方事務窓

口の対応についての回答は、やや不満と非常に不満を合わせて 49.0%の学生が不満があると回答しており、非常に満足とやや満足を合わせた 38.4%を上回る高い割合の学生が不満を感じていると回答している。また、情報機器の利用方式について、やや不満と非常に不満を合わせて 40.3%と高い割合で不満と回答している。

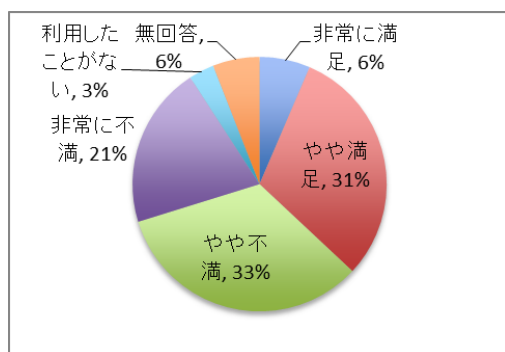
なお、図書館のレファレンスサービスについて、53.7%が非常に満足とやや満足と回答としている一方で、利用したことがないと 34.0%の学生が回答しており、図書館の蔵書数の改善と共に学内図書館の充実と共に活用の必要があると推察される。

前回調査では、回答形式が(非常に満足、やや満足、どちらでもない、やや不満、非常に不満)と、今回調査とは回答形式が若干違うが、事務窓口の対応について、やや不満と非常に不満を合わせて 49.3%と今回の調査とほぼ同じで多くの学生が不満ありと回答した。次いで同じく情報機器の利用方法が 43.5%、図書館の開館日・開館時間が 35.2%となっており、これらについて前回から不満が改善されていないことが伺える。

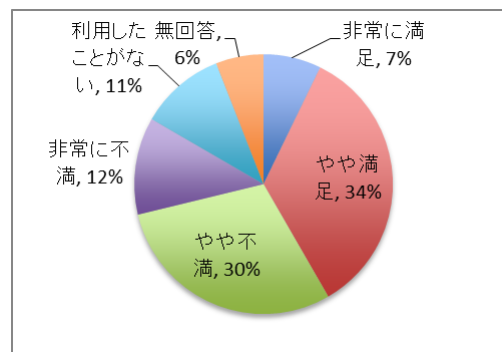
(院生)

院生の回答では、13 ある設問のうち、シラバス、履修ガイド、開講科目冊子、時間割冊子、OchaMail、情報教室の開室日時間、オフィスアワーの設置や教員の対応の 7 つの設問について、非常に満足とやや満足を合わせた割合がおよそ 6 割、やや不満と非常に不満を合わせて 2 割程度であった。一方、事務窓口の対応の質問については、やや不満と非常に不満を選択した学生が 53.8%と半数以上の学生が不満があると回答している。

図表3-11 事務窓口の対応



図表3-12 情報機器の利用方法



また、図書館の開館日時間、図書館のレファレンスサービス、情報機器の利用方式、メールシステムの 4 つの項目については、約 4 割の学生がやや不満と非常に不満と回答しており、事務対応に次いで改善の希望があると推察される。

前回調査では、情報機器の利用方法について、やや不満と非常に不満を合わせて 39.1%と今回の調査と変わらず多くの学生が不満ありと回答した。次いで同じく事務窓口の対応が 34.8%、図書館の開館日・開館時間が 32.6%となっており、これらに関して改善が進んだとは言いがたい状況である。

その他(具体的に)の設問に関して、

(学部)

- ・ 新着本の通知があると助かります。
- ・ 図書館のパソコン重すぎて使えません。プリンタもややこしい。以前のように学生証認証で問題なかったのに。
- ・ 他学科の図書館の使用や卒論の閲覧がスムーズでなく、とても不便。
- ・ 休日に勉強できるスペースがない。
- ・ 図書館の職員が偉そう。

- ・ 開講科目冊子は新入生だけの配布でなく、年度ごとに更新してほしいです。
- ・ 図書館の職員さん、学生課の職員の方はいつも丁寧に対応してくださり、たすかっている。
- ・ 学生課の自動発券機を長期休暇の際に使えなくて(学割を発行したかった)困ったことがありました。
- ・ 学務課で適切な対応をしてくださる方が、非常に少ない。

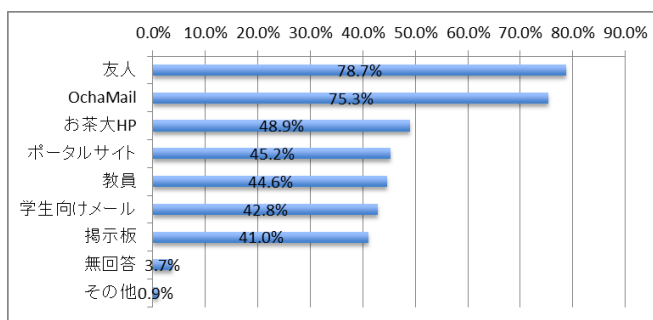
(院生)

- ・ Active! Mail、重すぎ。／Ocha Mail はガラケー携帯からでもリンクを見られるようにしてほしい。
- ・ 全体的に事務職員の対応が悪く、スピードも遅く感じる事が度々ある。サービスする側としての認識が大いに足りないと思う。
- ・ 後期課程の履修届の案内がわかりづらいし、合理的ではない。
- ・ 院生の控え室が小さすぎる。使えないパソコンがいつまでもある。個々のスペースも小さすぎる。
- ・ 図書館には日曜、祝日も開館していただければ助かります。
- ・ 院生室がないため、勉強の場所はおもに図書館です。勝手ながら申し訳ありませんが、特に投稿論文の締め切りの前などの時に、研究のスペースを確保してほしいです。図書館の開館時間についての意見がありませんけれど、開館日を増設していただければと思います。
- ・ 院生スペースをきれいにしてパソコンを増やし、バージョンを新しくしてほしい。
- ・ 教育研究プロジェクトなどに関してアナウンスが不十分で学生まで情報が伝わってこない。すべての情報が必ず掲載されている掲示板(あるいは Web 掲示板)を確保してほしい。授業変更などを通学中などに確認できないのが非常に不便。使いやすい Web サービスを用意してきちんと告知してもらえれば、学生も教員もすぐ活用するので、早く一元化したシステムを完成させてほしい。

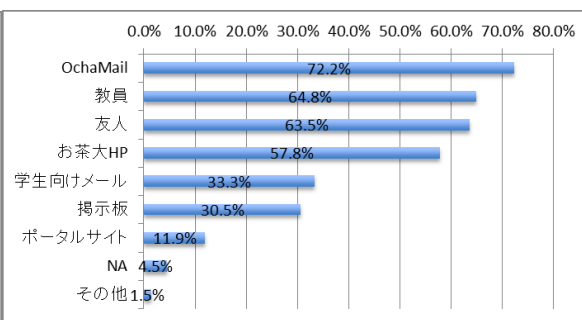
などの回答があった。(部署の名称は調査時のもの。)

5. 大学からの情報はどこで得ているか

図表 3-13 大学からの情報をどこから得ているか(学部)



図表3-14 大学からの情報をどこから得ているか(院生)



大学からの情報はどこから得ているかの設問に、友人から、および OchaMail からとそれぞれ 78.7%、75.3%が回答しており、概ねこれら 2つが学部生の主な情報源と見ることができる。次いでお茶大 HP、ポータルサイト、教員、学生向けメール、掲示板の順に、約半数の学生が回答している。

院生においては、OchaMail から 72.2%、続いて教員 64.8%、友人が 63.5%と回答している。次いでお茶大 HP、学生向けメール、掲示板の順に回答している。